

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年1月27日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年1月27日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【陸側遮水壁 ブライン循環ポンプ(2A-2)の自動停止について】</p> <p>陸側遮水壁 ブライン循環ポンプ(2A-2)のモータ温度の異常を示す警報が発生し、ポンプが自動停止した。ポンプモータ冷却ラインのYストレーナの清掃、および絶縁抵抗を測定し問題がないことを確認。その後、ポンプの運転を実施し、運転状態に異常がないことを確認。Yストレーナの詰まりがポンプ自動停止の原因と推定。</p>	GⅢ	1月21日
2	<p>【増設多核種除去設備(A)系クロスフローフィルタ逆洗用装置(2A)のシリンダー固着について】</p> <p>増設多核種除去設備(A)系クロスフローフィルタ逆洗用装置(2A)のドレンホースに残水が発見された。当該のドレンホースは機器からの漏えい水を、排水タンクへと導くためのものである。</p> <p>調査のため、増設多核種除去設備(A)系前処理設備のクロスフローフィルタ逆洗用装置(2A)を、手動にて動作させたところ、シリンダーが固着して動作しないことを確認したことから、当該機器を停止した。</p> <p>なお、当該機器を停止しても、増設多核種除去設備(A)系は運転可能なため、系統機能に影響なし。今後、点検修理予定。</p>	GⅢ	1月23日